

平成 23 年 4 月 27 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動や個人消費の一部が弱含み、雇用情勢、観光関連も低調に推移するなど、全体として厳しさが増している。

生産活動は、電子部品関連が弱含み、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年を上回ったものの、新車販売台数（乗用車・軽自動車）は震災の影響により大きく落ち込んでいる。投資関連では、公共工事、民間建築工事、住宅着工いずれも前年を上回ったものの、依然として低水準。その間、観光入り込み客数は震災や新燃岳噴火の影響により、前年を大きく下回った。

【生産活動】 … 弱含み

電子部品関連は、弱含んでいる。震災は原材料調達や受注に影響を与えており、当面は生産の制約要因となる見込み。

3月の**生コン生産（出荷量）**は、民間工事向け出荷は前年を上回ったものの、公共工事向け出荷が前年を下回り、全体で1.3%減となった。

3月の**紙パルプ生産**は、18.0%増と2カ月連続で前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産・出荷は前年割れが続いている。

2月の**かつお節生産**は、3カ月ぶりに前年を下回った。

【畜産関連】 … 持ち直している

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移する一方で、3月の子牛価格は前年を上回った。豚肉相場は枝肉の出荷量減少により、前年を上回っている。ブロイラー相場は品薄感から、もも肉、むね肉ともに前年を上回っている。鶏卵相場は前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 … 一部で悪化

2月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、セールにより冬物衣料品に動きがみられ衣料品は前年を上回った。また、飲食料品も前年を上回り、全体は4.1%増と2カ月連続で前年を上回った。

3月の乗用車新車販売台数は、震災の影響で需要が冷え込むとともに国内自動車生産停止で供給が不足し、40.2%減と6カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は44.3%減、小型車は37.0%減となった。メーカーからの在庫がないため、車検到来に伴い買い替える顧客の対応などに販売会社は苦慮している。また、軽自動車も35.2%減と6カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 … 低調

3月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、22.9%減と13カ月連続で前年を下回った。各地区とも震災や新燃岳噴火の影響により予約キャンセル、新規予約の減少がみられた。特に霧島地区は影響が大きく前年を大幅に下回った。種子島・屋久島地区も震災の影響で前年を下回った。3月の主要観光施設入場者数は一部の施設で利用・入場者数が前年を上回った。

【投資関連】 … 低調

3月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

2月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて前年を上回ったものの、水準は低い。2月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が前年を上回り、全体で23.7%増と2カ月連続で前年を上回ったものの、低水準で推移している。3月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は2カ月ぶりに前年を上回った

2月の**輸出額**は、半導体等電子部品が前年を下回ったものの、タイヤ・チューブが前年を上回り、全体で30.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を上回り、全体で30.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

2月の**有効求人倍率**は、前月を0.01ポイント上回る0.51倍と緩やかに改善しているが、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 低水準で推移

3月の**企業倒産**は、件数が3件と前年同月（9件）を下回り、負債総額も5億10百万円と前年同月（8億70百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱鹿児島地域経済研究所（TEL 099-225-7491）